



# 林 声

2017



月号



多賀重機（新見市）の多賀紀征（たがのりゆき）さんは、平成23年8月の起業後、市内を中心に間伐・作業道の開設を行うとともに、地域林業の活性化に向けた活動にも活発に取り組まれています。（詳細はP3に記載しています。）

## 目 次

新年あいさつ.....	2	お知らせ（森林研究所研究成果発表会の開催）...	10
岡山・森林列伝（多賀 紀征さん）.....	3	技能講習会、イベント情報.....	11
普及指導区の情報（岡山支部）.....	4	林産物市況.....	12
ニューフェイスです（井上 嘉人さん）.....	5	事務局からのお知らせ.....	14
教えて先輩（片岡 誠さん）.....	6		
中国・四国ブロックシンポジウムの開催等.....	7		
研究だより（木材加工研究室）.....	8		
林務の職場（美作県民局、美作市）.....	9		



おかやま森の大使

新年のごあいさつ



岡山県林業  
改良普及協会  
会長  
井手 紘一郎

新年あけましておめでとうござ  
います。

会員の皆様には、輝かしい新春  
をお迎えのこととお慶び申し上げ  
ます。

また、平素から当会の運営につ  
きましては、皆様の格別のご支援、  
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げ  
ます。

さて、森林は、水源の涵養、国  
土の保全、地球温暖化防止、生物  
の多様性の保全などの多面的な機  
能の発揮により、私たちの生活に  
欠かせない様々な恩恵をもたらし  
ています。その森林を将来にわたっ  
て守り育てる役割を担っているの  
が林業であります。

木材価格の長期にわたる低迷な  
ど林業を取り巻く環境は厳しいも  
のがありますが、県では「21おか  
やま森林・林業ビジョン」を策定  
し、「豊富な資源の循環利用による

林業の成長産業化」の実現に向け  
て、「伐って、使って、植えて、育  
てる」という林業サイクルを循環  
させる施策を推進されております。

出口対策として木材の需要を拡  
大することが重要であり、公共建  
築物での県産材の利活用の推進、  
新製品であるCLT(直交集成板)の  
活用促進、大韓民国において県産  
ヒノキ製材品等をPRするアンテ  
ナショップの開設支援、東京五輪  
施設での利用が期待される森林認  
証材の普及など、国内外に視野を  
広げて取り組みが進められている  
ところであります。

また、担い手の確保・育成として、  
研修等の実施のほか、東京や大阪  
における林業就業へのリクルート  
活動や市町村が行う担い手対策へ  
の支援、さらに森林整備として、  
間伐の推進はもとより、人工林の  
若返りと低コスト化を図るため、  
伐採と植栽を同時に実施する一貫  
施業の導入や少花粉苗木の普及な  
どにも、取り組まれています。

こうした県の施策が実りある成  
果をもたらすためには、人や地域  
をつなぐネットワークづくりが一  
層重要になっております。

当普及協会といたしましても、  
昨年、新たに委嘱された「おかや  
ま森の大使」によって、森林・林  
業の大切さや木材の良さをより広  
く、県民の皆様様にPRするととも  
に、林研グループ交換研修大会や  
専門部会の開催、あるいは「林声」  
の発行による会員相互の情報共有  
によって、地域のネットワークづ  
くり貢献し、森林・林業が益々  
活気づくよう取り組んで参る所存  
であります。

最後に、会員の皆様の一層のご  
支援、ご協力をお願いいたします  
とともに、それぞれの分野で益々  
ご活躍をお祈り申し上げます、新年の  
ごあいさつとさせていただきます。



皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会



「伐って・使って・植えて・育てる」

～林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、下刈り費は上  
限 5 万円を 5 年間助成します。  
詳細につきましては、当連合会各支所又は最寄りの森林  
組合へご相談ください。

(※森林組合の連絡先等は岡山県森林ホームページにあります。)



# 岡山・森林列伝

## 【新見普及指導区】



新見普及指導区で間伐・作業道の開設や地域を盛り上げる林業の活性化に取り組み多賀重機代表多賀紀征さん(40歳)をご紹介します。



### 一 林業との繋がり

多賀さんの父は、昭和54年から新見市神郷高瀬でスギ・ヒノキの苗木生産をされていたことから、多賀さんは幼い頃より、スギやヒノキに慣れ親しみ、林業を身近に感じる環境で成長されました。

多賀さんは学校を卒業後、平成9年4月、新見市森林組合に職員として採用され、事務の仕事の傍ら、時にはグラップルのオペレーターとして原木の積み込みなど現場でも活躍されていました。

場でも活躍されていました。

そうした折に、森林組合で教わった技術を生かし、自分でも直接林業をやってみたいと思い立ち、平成23年に森林組合を退職され、「多賀重機」を父と二人で立ち上げられました。最初は、作業道づくりの仕事を専門に行う予定でしたが、間伐作業の依頼も多数受けるようになり、今では、森林所有者からの依頼、森林組合の下請け、森林整備センターの作業を請け負われ、間伐は年間20〜30ha、作業道は年間5〜6kmを開設されています。普段は親子二人で作業をされて



作業道の開設

いますが、大きい面積の間伐作業を請けられたときは他の林業事業体1〜2社と共同で、作業道づくり、伐倒、集材、造材、搬出作業の一連の作業を行っているのとこのとで、個々の各事業体は小さくても現場に対応して必要機材を持ち寄ることにより、少ない投資で作業の効率化が図れると説明をいただきました。

地域にはまだまだ、間伐が必要な森林が沢山あります。少しでもその解消に向けて協力していきたいとのことでした。

### 二 地域の活性化に向けた取組

多賀さんは、多賀重機代表の一方で、平成27年度からは、新見市地域おこし協力隊の3名で設立した「(二社)人杜守」の代表も務めています。この団体は、県内外の

学生を対象とした環境保全型森林ボランティアの企画・運営を行うほか、本年度から新見市小規模林家支援推進協議会に積極的に参加するなど、市内の林業・自伐林家の活性化に向け活動をしています。

また、地域の子供たちが市外の学校を卒業して新見に帰ろうとし



森林ボランティア活動のあいさつ

たときや県内外からの移住、定住希望者に対し地域で林業、農業、漁業で働けるようコーディネートする役割も果たしたいと言われます。

林業は、危険な作業を伴いますが、安全を第一とし、基本を守って無理をしないことを心掛けていくとのことでした。また、今の会社は親子のみの活動となっていますが、やる気のある人、技術を持っている人がいれば是非一緒に林業をやりたいと言われています。

(林業普及指導員 井上 昌則)

「未来へつなぐ森林体験  
実行委員会」活動の紹介  
〔岡山普及指導区〕

岡山市において、次代を担う小中学生を対象とした森林体験活動を企画・実行している団体の取組みについて紹介します。

一 会の目的など

「未来へつなぐ森林体験実行委員会」は、子供たちに、森林整備作業体験等を通じて、森林が果たしている重要な役割や森林整備の重要性を学んでもらう場を提供することを目的として、岡山市と岡山森林組合が連携して平成22年に発足しました。岡山森林組合長が会長をつとめ、同森林組合本所に事務局を設置しています。

二 活動内容

これまで、広葉樹植栽、植林地での下刈り、間伐、枝打ちの保育作業や、シイタケ菌の駒打ち、シイタケ採取、木工教室等の体験活動を企画しました。1回につき2つの森林作業体験に加え、室内での森林・林業に関する学習会を盛

り込み、秋季と冬季の年2回、「森林体験バスツアー」という形で、市が主導して募集を行い、実施しています。

森林体験活動 平成28年11月6日(日)

8:30	岡山市大供公園集合・移動
9:40～	開会式・オリエンテーション
10:00～	下刈り作業
11:30～	移動・昼食
12:40～	シイタケ採取
13:20～	岡山森林組合に移動
14:00～	森林・林業に関する学習
15:00～16:00	閉会式・移動・解散



下刈り体験

このバスツアーは、平成23年度からこれまでに計11回の実績を重

ね、参加者数は延べ300人を超えました。今後も、都市住民を中心とした多くの参加者に、現場体験を通じて山や林業の魅力について発信することとしています。ツアーに来る児童の中には、複数回参加している常連もいて、次回の案内を楽しみにし「今度はいつするん？」と催促されたりもするそうです。



森林と林業の話

三 未来に向けて

当普及指導区でも、学校で木育授業を行う機会がありますが、「木材を多く使用するのは森林・環境破壊につながると思っていた」「木を伐ることが森を育てることになるとは知らなかった」といった感想が、意外に多く寄せられます。

林業と森林資源の循環についての理解がまだまだ十分行き渡ってない現状を痛感しているところです。このような中、委員会の活動において、正しい知識の周知が図られることは極めて効果的で、これからのいろいろな支援していきたいと考えています。

また、活動の成果として、参加者の中から、地域の森林・林業の担い手となる人が現れたら大変喜ばしいことだと思えます。

そして、次の世代に委員会の取り組みが継承され、美しい森林とともに、「未来へつながつて」いくことを願っています。



記念撮影

(林業普及指導員 池田稔)

特集 『ニューフェイスです』

吉永オーガニックマーケット  
井上 嘉人さん(43歳)



備前市北部に位置する「八塔寺ふるさと村」のある三國地域(多麻、加賀美、留岐)で、

主に原木シイタケとニンニクを栽培されている井上さんにお話を伺いました。

一 経歴

北海道で生まれ高校を卒業後、関東の大学に進み、ITのシステムエンジニアを約10年して、その後、自然への憧れもあり、長野県の安曇野で宿泊施設に住み込みで働いていました。その時に小さな畑を任せられ、野菜を栽培しているうちに農業へ興味を持ち、就農を思いつきました。就農先の選定については消去法で行いました。

まず気候が温暖で、災害が少なく、売り先の都会に近く、自然がたくさん残っている田舎を考え

たら岡山が該当しました。岡山は、父親の生まれ故郷でもあり、そして縁があつて三國地域になりました。

今は、安曇野から一緒に移住した妻と、三國で誕生した3人の子供と仲良く楽しく暮らしています。この三國地域を選んで良かったと思っています。

二 ニンニクの栽培

最初は、農業大学の講習会に参加しながら、年間約80種類の野菜を栽培し、宅配販売を行っていましたが、しかし、通年の野菜栽培は難しかったです。

その後、試行錯誤を重ねて、獣害の少ないニンニクの栽培にたどり着きました。ニンニクは無農薬で栽培し、黒ニンニクに加工して、主に道の駅などの直売所で販売しています。

また、WWOOF(ウーフ)のホストとして登録しており、月に1組程度の外国人が訪れて、農作業の手伝いをしてもらうこともあります。

三 原木シイタケの栽培

原木シイタケの栽培は、5年ほど前に、師匠である美作市の奥山健一さんから、「シイタケをやってみないか。」の一言がきっかけで、

最初は500本の原木から始めました。

今では2品種、約1万本を超える原木でシイタケを栽培しています。その殆どを、干しシイタケとして直売所や学校給食用に販売しています。



四 獣害対策

就農してから獣害に悩まされており、自ら狩猟免許を取得して有害鳥獣の駆除を行っています。猟期に取った鹿やイノシシの肉は犬用の餌の原料として販売しています。また、長男のランドセルは、妻が鹿革を加工して作りました。

五 吉永オーガニックマーケット

吉永オーガニックマーケットは、平成24年に私を中心に若い人たちが設立しました。活動として、今年には「有機農業実践方法【BLOG理論】」の小祝政明氏を講師に招き有機栽培講習会を開催したところ、定員を大きく超える約70名が受講しました。また、「有機栽培講習会【学習編】」を1月から4回に分けて開催します。興味のある方は連絡をお待ちしています。

六 今後は

更に経営規模を拡大させていきたいです。しかし、子供たちに後を継いでもらいたいとは思っていません。私も好きなことをしてきただけで、それぞれが好きな道に進んでもらえたら良いです。今、長男は大工になりたいと言っているので、とても楽しみにしています。

七 取材を終えて

取材は、小雪の降る寒い日に、井上さんの原木シイタケの圃場で行いました。脱サラしてからの苦労話も聞きましたが、井上さんがとても輝いて見え、当普及指導区では、今後も応援していこうと考えています。

なお、原木シイタケ、ニンニクは個人販売もされていますので、ご用命の方は当普及指導員に連絡をください。

また、普及指導員の働きかけで、2月18日には、岡山県青少年教育センター「閑谷学校」で開催される「親子でアウトドア」で原木シイタケの植菌体験の講師をされる運びになっています。

(林業普及指導員 平見正則)

特集

『教えて先輩!』

津山市森林組合

片岡 誠さん (36歳)

今回、御紹介する先輩は、津山市森林組合にフォレストスターとして勤務されている片岡誠さんです。



津山市森林組合 片岡 誠さん

一 経歴

出身は、地元の津山市上横野で、林業を営んでいた父親の背中を見ながら、幼少期を過ごしました。その影響から自分も林業や造園業に興味を持ち、勝間田高等学校林業緑地科に入学して林業や造園業に関する基礎知識を学びました。

卒業後は、京都府の造園会社で2年間修行してから地元に戻り、森林や緑地関連の会社で4年間働

きました。その後、自ら造園会社を立ち上げ、6年間経営していましたが、本格的に山仕事がしたいと思い、30歳の時に津山市森林組合に就職しました。

二 仕事内容

就職当初から現在まで造林班に配属しており、植林や切り捨て間伐、下刈り等を行っています。時には林産班の仕事である立木伐採や木材搬出を行うなど何でも屋として過ごしています。



高所作業車での作業風景

また、造園業で習得した技術や資格を活かして高所作業車に乗り、市街地での木々の剪定作業を行う等、仕事は多岐にわたっています。

林業は肉体労働が多く、体力を必要とする大変な仕事ですが、長

三 後輩へ

年培った技術により、山林を美しく整備できると、そんな大変さも吹き飛び、この仕事への大きなやりがいを感じます。

器用な人が多いため、チェーンソーや刈払機の使い方等、基本的なことはすぐ覚えられ、感心する反面、手取り足取り教えてもらうことを待っている人も見受けられ、もっと自主的に行動してほしいと思う場面もあります。

例えば、立木伐採では、伐採方向は言葉で教えてあげられますが、どのように伐れば、その方向に倒れるかというのは、感覚的な部分が大きく、言葉で教えるのは困難です。このため、先輩の仕事



伐採作業風景

見て、自ら試行錯誤を重ねながら、技術を学び、先輩より上手になつてやるという自主性が欲しいです。

また、仕事中の怪我は、起こらないように十分に注意してもらいたいです。林業で用いる道具は非常に便利ですが、ひとつ間違えれば大怪我につながります。作業の時は、周囲の確認や安全器具を正しく着用し、仕事開始時や終了時の気が緩む時間帯の注意喚起等を徹底するよう心がけてください。

四 今後について

現在、伐期を迎えた森林が非常に多く、また、齢級構成の平準化を図るためにも、林業機械等を活用した効率よい森林整備を行いなから、まだまだ第一線で仕事をしたいです。

五 最後に

片岡さんには快く取材に応じていただき、ありがとうございます。地域に定着した先輩がいることは非常に頼もしく思います。今後、益々の御活躍を期待しています。

(津山普及指導区 鷺江祐槻)

平成28年度林業普及指導員  
中国・四国ブロックシンポ  
ジウムの開催について

一 はじめに

今年度は平成28年11月14日(月)にホテル千秋閣(徳島県徳島市)で、中国・四国の9県の林業普及指導員等57名が参加し、林野庁の主催により開催されたので、その概要を報告します。



各県からの発表内容を真剣に聴き入る参加者

二 目的

このシンポジウムは、毎年度時代に応じたテーマが設定され、この内容に沿った普及活動の事例について各県ごとに発表を行い、質疑等を通して各地域の普及活動に生かしていくものです。

三 テーマ

今年度は、近年、関心が高まっている林業大学校や教育研修機関等に関連し、「林業大学校や研修センターと連携・協力した林業普及指導員の人材育成の取組」となりました。

四 発表内容

岡山県からは、林政課の山本主幹が「大学や研修機関と連携した林業普及指導員の人材育成の取組」と題して、発表を行いました。

林業普及指導員は、林業技術の普及に加え、担い手の育成にも関わるため、人を育てる能力も備えておく必要があります。そこで、岡山大学や林野庁と連携して行った林業普及指導員自身の育成研修の内容について紹介しました。

他県からは、林業事業者の次世代を担う職員の育成や新規林業就業者の確保に向けた取組について発表がありました。

五 審査結果

最優秀賞は、出前授業や林業PR映画の制作を行い普及活動に取り組んだ徳島県の「三好高校、林業事業者、林業普及指導員の連携・協力による新規林業就業者を確保する取組」となりました。

平成28年度林業普及指導員  
全国シンポジウムの開催について

一 はじめに

今年度は平成28年12月2日(金)に農林水産省(東京都千代田区)で、全国的林業普及指導員等133名が参加し、林野庁の主催により開催されたので、その概要を報告します。

二 目的

このシンポジウムは、全国6箇所で開催されたブロックシンポジウムで最優秀賞に選ばれた代表がその事例を発表し、成果を全国に普及していくものです。

三 発表内容

(一) 北海道・東北ブロック代表  
北海道「地域林業を担う多様な人材育成に向けた普及指導活動について」カラマツ王国!十勝の取組」

(二) 関東・山梨ブロック代表  
栃木県「とちぎの林業人材の確保・育成等に向けて」

(三) 中部・北陸ブロック代表  
長野県「長野県林業総合センターにおける人材育成の取組」  
(四) 近畿ブロック代表  
京都府「林業普及指導における担い手育成の取組」林業大学校等

との連携」

(五) 中国・四国ブロック代表  
徳島県「三好高校、林業事業者、林業普及指導員の連携・協力による新規林業就業者を確保する取組」

(六) 九州ブロック代表  
大分県「大分県北部地域における人材育成の取組」関係者との協働による人材育成」

何れの発表も、地域の雇用状況に応じて、就業支援、出前授業、動画や映画による情報発信などを行い、新たな担い手の育成に取り組んだ内容となりました。



各地で設置が進む林業大学校と連携した人材育成の取組も発表されました。

四 審査結果

今年度は、中国・四国ブロック代表の徳島県の取組事例が最も高く評価され、最優秀賞を受賞しました。

(林政課 普及指導班)

研究のよゆ  
**「岡山県産材による  
 難燃化技術の開発」**

一 はじめに

平成22年10月に「公共建築物等木材利用促進法」が施行され、公共建築物については可能な限り木造化、又は内装等の木質化を図るという目標が掲げられました。今後、公共建築物における木造化、内装等の木質化が推進され、建築分野における木材の需要拡大が期待されます。

二 研究の背景

ところで公共建築物は、その用途及び規模等により防火制限が適用されることが多いため、内装を木質化するためには、木質の防火材料が必要になります。

(参考 林声No.431)。

しかし、これまで岡山県産材の難燃化については、十分に検討されたことはなく、難燃化処理を行える工場も存在していません。

このような背景から、森林研究所では平成26年度から岡山県産材による難燃化技術の開発に取り組んでいます。

三 研究の概要

岡山県産材の難燃化は、難燃薬剤を木材に注入処理する方法で行いました。

難燃薬剤は、代表的な防火薬剤であるリン酸系薬剤とホウ素系薬剤を使用しました。リン酸系薬剤は、加熱により生成された炭化層が酸素を遮断し燃焼を抑制する効果があります。ホウ素系薬剤は、加熱により脱水、分解し、さらに高温になって溶融しガラス状になります。これが木材表面を被覆し、酸素供給を阻止することで燃焼抑制効果を発揮します。

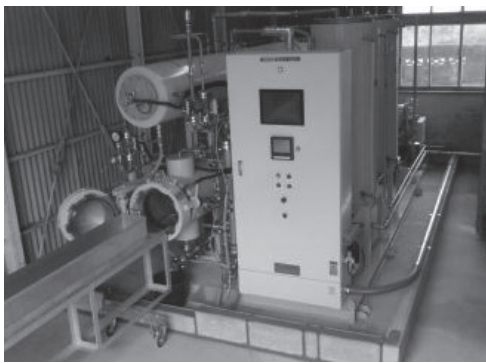


写真-1 真空・加圧含浸装置

これらの難燃薬剤を単独又は混合し、所定の濃度の薬剤に調製した後、県産ヒノキ及びスギ材に注

入処理しました。注入処理は、真空・加圧含浸装置(写真-1)を用い、加圧圧力や時間などの条件を変えて行い、薬剤注入量の異なる試験体を作製しました。

難燃処理した試験体は、防火材料としての性能を評価するため、発熱性試験(コーンカロリメーター試験)を行いました。試験は、コーンカロリメーター(写真-2)を使用して行い、発熱速度と総発熱量を求めました。これらの結果から、薬剤の種類と薬剤注入量により、どの性能の防火材料(不燃材料・準不燃材料・難燃材料)が製造可能かが明らかになってきました。



写真-2 コーンカロリメーター

結果の一例として、ヒノキ材に

おけるリン酸系とホウ素系の混合薬剤の発熱性試験結果を図に示します。

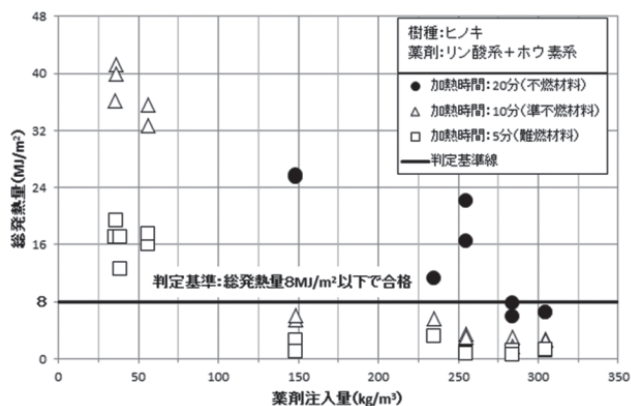


図 薬剤注入量と総発熱量の関係

リン酸系とホウ素系の混合薬剤は、薬剤注入量275kg/m³以上で不燃材料の基準(加熱時間20分・総発熱量8MJ/m²以下)を満たしており、岡山県産材により不燃材料が開発できる可能性が明らかとなりました。

今後、さらに研究を進め、県産材による高品質な防火材料を開発し、県産材の需要拡大を推進したいと考えています。

(森林研究所専門研究員 金田利之)



▼林務の職場▲

『美作県民局森林企画課』

一 はじめに

美作県民局森林企画課は津山市、鏡野町、美咲町、久米南町、真庭市、新庄村、美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村を管轄し、真庭地域森林課と勝英地域森林課と連携して森林・林業・木材産業に関する施策について推進しています。

森林企画課では林業振興班、造林班、森林保全班で業務を行っており、その取組について紹介します。

二 森林企画課の業務

林業振興班は津山地域での林業普及活動を中心として、県産材(美作材)の安定供給体制の構築を図るための高性能林業機械の導入、木材加工流通施設や木質バイオマス利用施設の整備などの取組への支援や、森林計画、森林認証、県産材の需要拡大、各種森づくり、森林病害虫の防除等多種多様な業務を行っています。今年度の林業普及活動では林業担い手の確保・育成に新たに取組んでいます。

造林班では森林・林業の再生と森林の有する多面的機能を持続的

に発揮させるため、施業の集約化を進め、作業道整備と間伐を促進するとともに、齢級構成の平準化、広葉樹林・針広混交林への誘導等の多様な森林整備を推進しています。

森林保全班では、無秩序な開発によって森林の公益的機能が脅かされることのないよう、林地開発許可制度や保安林制度の適切な運用に努めております。また、自然公園の管理や鳥獣の保護・管理並びに狩猟についての業務もっており、今年度はツキノワグマの出没件数が過去最高となり、その対応に苦慮したところです。

三 スタッフ紹介

森林企画課長、林業振興班 班長以下7名、造林班 班長以下4名、森林保全班 班長以下6名、フォレストレンジャー1名、特定鳥獣専門指導員1名、臨時職員1名、計21名が勤務しています。

森林・林業・木材産業に関する相談がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】

美作県民局森林企画課  
電話0868-23-1377

(森林企画課 長畑弘道)

『美作市森林政策課』

一 はじめに

美作市は、人口約28,000人の市で、民有林面積は31,759畝です。そのうちヒノキを主体とした人工林率は45.5%、県平均の39%に比べ高いです。林齢は50年生前後の森林が多く、市町村森林整備計画に基づいた実行監理を行っているところです。

平成27年度からは、森林行政を担う組織として森林政策課が設置され、森林・林業等の振興に専念しています。

二 森林政策課の紹介

森林政策課は、森林政策係と有害鳥獣対策係の2係に分かれて業務を担当しています。(28年度)

① 森林政策係

森林施業に係る各種補助金、美作市産材を利用した新築・リフォームの補助金、薪ストーブ設置事業、ナラ枯・枯松対策事業、市有林保育事業、緑化事業等を実施しています。平成27年度ナラ枯対策事業では、全国で初めて被害木を伐採・搬出して市営温泉施設の薪ボイラーの燃料として活用しました。今後市が行う事業から出てくる伐採木等を有効活用して好循環サ

イクルの構築ができるように森林施業を進めていきます。

② 有害鳥獣対策係

農作物等への被害を防止するため、侵入防止柵の設置補助や捕獲強化事業を行っています。特にニホンジカによる被害は深刻となっており、昨年度の捕獲頭数は5,855頭と過去最高となりました。またイノシシは1,427頭の捕獲実績です。

このような状況から、地域資源の有効活用と高齢化する猟師の負担軽減等を目的として、平成24年度に美作市獣肉処理施設「地美恵の郷みまさか」を整備し、ニホンジカとイノシシの食肉処理を市営で行っています。昨年度の食肉処理数はニホンジカで1,513頭、イノシシで170頭です。国内有数の施設となっており、全国からの視察も受け入れています。

③ スタッフ紹介

課長・福永道広、課長補佐(兼有害鳥獣対策係長)・河副基彦、森林政策係長・渡邊賢治、有害鳥獣対策係主任・有瀬佳徳、森林政策係主事・前原正幸。以上5名で業務を進めています。

(美作市森林政策課 前原正幸)

## 平成28年度 森林研究所 研究成果発表会の開催

岡山県農林水産総合センター森林研究所では、これまで取り組んできた研究成果を関係業界や一般県民の皆様に分かりやすく紹介し、理解と関心を深めてもらうため、次のおり研究成果発表会を開催します。

### 一 開催日時

平成29年2月14日(火)  
13時30分から16時

### 二 場所

真庭市落合垂水618  
「真庭市落合総合センター  
多目的室」

### 三 内容

#### ●研究成果発表

(木材加工研究室)

①岡山県産材の難燃化技術の開発  
発・改良

金田専門研究員

(林業研究室)

②マツタケの酵素と新規培養法

藤原専門研究員

③列状間伐による森林管理  
西山専門研究員

④ポータブルウイッチによる竹の搬出  
石井特別研究員

⑤分解組立式バイオマス暖房機の開発  
石井特別研究員

#### ●ポスター発表

森林研究所で実施している試験研究課題についてパネル等を使ってわかりやすく研究員が解説します。

参加を希望される方は、平成29年2月7日までに森林研究所まで電話、FAX、メールにてご連絡願います。

なお、申込の際には住所・氏名・電話番号をお知らせください。

#### 【申込先】

〒709-4335

勝田郡勝央町植月中1001

農林水産総合センター森林研究所

電話 0868-38-3151

FAX 0868-38-3152

メール ringyo@prefokayama.lg.jp



昨年のポスター発表の状況



一昨年の研究発表会の状況



## 緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助  
治山・林道の調査、測量、設計、積算  
森林整備・森林公園の総合計画

### 一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711  
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

## 技能講習会の開催(2~3月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	津山	2月22, 23日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	岡山	3月9, 10日	
玉掛け	岡山	2月9, 10日・3月2, 3日 3月4, 5日	
	津山	2月20, 21日	
移動式クレーン運転士		3月7日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
はい作業主任者	岡山	3月15, 16日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

## 森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
2. 4 (土)	おかやま共生の森・柵原 (美咲町書副地内)	保育のつどい (間伐、森林レクリエーション (きのこ植菌等))	久米郡森林組合 TEL (0868) 66-0053

## 「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST  
INSURANCE



# 森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約6千万円の保険金が支払われました。

## ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
一括払いだと 21,225円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
一括払いだと 37,375円 (5年間計)

1ヶ月あたり  
約350円

わずかおむすび  
3個分



1ヶ月あたり  
約620円

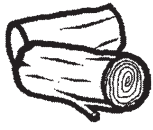
わずかラーメン  
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



# 林産物市況



木 材 (12月19日)

単位：千円/m<sup>3</sup>

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3m	14～16	12	6.5	檜	3m	14～16	21	15
		18～20	11	6.5			18～20	17	15
		22～28	12	10			22上	14.5	13
	4m	18～22	10	8～		4m	14～18	17.5	15.5
		24～28	10	8～			20～22	14.5	13
	6m	16～18	15	13			24～28	15	13
松	3m	18～22	10	8	6m	16	30	25	
	4m	18～22	10	8		18～20	30	25	
・ 出荷材積 約 1,700 m <sup>3</sup>									
(共販所より概況)									
杉概況：					檜概況：6mは16cm以上の元太りの木で				
柱材 横這い					【3m】                      【4m】				
中目材 横這い					柱材 横這い      柱材 横這い				
元木 横這い					中目材 横這い      中目材 横這い				
松概況：					元木 横這い      元木 横這い				

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (12月)

単位：円

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
スギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
	正角 3m 12cm 角	特等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000 (背割有)～62,000 (背割無)
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000 (背割有・無)～60,000
マツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特等	G	52,000～54,000
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特等	G	54,000～
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	70,000～75,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	55,000～

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

## 安心と信頼の証を届けます




創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

### OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460  
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153  
 ■東京営業所 〒201-0003 東京都江和泉本町1-21-1(201) TEL(03)5761-9577 FAX(03)5761-9587



緑あふれる環境づくり

## 株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
 TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142  
<http://www.yamatoya-net.com>  
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所



**CT-500B** GP-532  
小型ハイパワープロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.



**YAMABIKO**

shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

## 美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255  
<http://www.mitsuyoshi.com/>

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
<b>グリーンフォーマット</b> 〔切土軟岩用〕 	<b>森樹郎マット</b> 〔切土土砂用〕 	<b>森樹郎マット21</b> 〔切土土砂用〕 	<b>張りウッド</b> 〔盛土用〕 	<b>ハリシバモック</b> 〔盛土用〕 



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目  
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり

**Nihon 日本植生株式会社**

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256  
 岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

—— 安全・人と自然・調和 ——

### 造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 **コニファー水和剤**    〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい  
 〔樹皮食い防止に〕 **バークガード**        〔野生草食獣食害防止〕 **防獣ネット**  
 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース  
 〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤  
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

**販売元：日植アグリ株式会社**

**TEL：086-292-5525**

**大同商事(株)大阪営業所**

**TEL：06-6231-2819**

平成二十九年一月一日（第四五一号）  
（隔月一日発行）

編集発行

〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会  
岡山市北区内山下二一四一六

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材  
防腐処理・ログハウス・デッキ

**さんもく工業株式会社**

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

**もりのたねごま**

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 **森産業株式会社**  
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
TEL 岡山(086)805-7033(代)



**「緑の募金」** ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は  
こちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225  
中国銀行岡山駅前支店 1852041  
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

岡山県からのお知らせ

岡山県農林水産部林政課では、林業就業PR映像「岡山の森林で働こう」を制作し公開しています。

森林を守り育てている林業の役割や県内で林業に携わる方々へのインタビュー等を交えながら仕事の様子を紹介し、林業という仕事の魅力を伝えていきます。映像は、林政課や（公財）岡山県林業振興基金のホームページに掲載されているほか、各県民局の森林企画課及び地域森林課で貸出しています。是非、青少年への林業の普及等にも御活用下さい。

（林政課普及指導班）



事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています  
事務局では、会員の方からの紙面に対するご意見・ご要望やイベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しておりますので、よろしくお願ひします。

【問い合わせ・連絡先】  
送付先

〒700-8507

岡山市北区内山下2-4-6

（岡山県庁林政課内）

岡山県林業改良普及協会

電話 086-2226-7451

FAX 086-2221-6498

メールアドレス

rinsei@pref.okayama.lg.jp

【編集後記】

・昨年9月まで森の大使を務めていた池田あおいさんが、2017ミス・ユニバース・ジャパン岡山県代表に選ばれました。おめでとうございます。

・昨年は1年間ありがとうございました。今年も新たな気持ちで頑張ろうと思います。引き続き、よろしくお願ひいたします。

(M)



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

